

# 再演、再制作、再展示

Replay, Reconstruction and Re-enactment of Exhibition in Contemporary Art

登壇者：

石谷 治寛（芸術史／京都市立芸術大学芸術資源研究センター研究員）

三輪 健仁（芸術学／東京国立近代美術館主任研究員）

赤羽 亨（メディア表現／IAMAS准教授）

モデレーター：伊村 靖子

## テーマ

近年、現代芸術の再演、再制作、再展示が注目されています。その理由のひとつに、行為遂行的（パフォーマンス）な価値や特定の技術環境を背景とする作品が生まれ、発表当初の意図を考慮した再現が困難になるケースが増えてきたことが挙げられます。こうした関心は、メディア・アートの基礎研究と無縁ではありません。作品のアイデンティティを問い直すための手法として展覧会や研究の事例を挙げながら、作品の保存、記録、記述のあり方について議論します。



シンポジウム「再演・再制作・再展示」（2017年12月20日）の会場